

アンケートの結果より

() 内は A,B を合わせた肯定的な回答の割合



◆総じて肯定的な評価をいただいていることに感謝いたします。学習については、担任による授業を中心にしながら学年が上がるにしたがって教科担任制を取り入れ、各教科を得意とする教員による授業を増やすようにしてきました。「話すこと・聞くこと」は、お子さんが確かな学力を身に付けるために大切なことです。タブレット端末の普及によって、授業の中で子どもたちが考えを交流しやすくなりました。家庭学習については、ドリル学習などの宿題のほか、「やぎっこノート」を活用した自主学習を奨励しています。保護者の方がノートを見届けたり、ときには横に座って励ましながら一緒に取り組んでくださったりしながら、家庭学習の習慣づくりを進めましょう。

設問 2 授業での学習内容の理解 (A+B 90%)

設問 3 話すこと・聞くこと (A+B 81%)

◆また、健康・安全面についても、この一年間にたくさんのお力添えをいただきました。コロナ禍が明け、学校生活の在り方について、さまざまな立場や考えに配慮しながら再構築してきました。引き続き感染予防に気をつけながら、「歌声集会」などここ数年間は控えてきた活動も再開し、学校に歌声が戻ってきました。登下校時の交通事故ゼロも、保護者の皆様や見まもり隊の方々のご協力があればこそと、深く感謝しております。

設問 10 感染予防・交通安全 (A+B 97%)

◆挨拶については、昨年度と同アンケートの結果に比べて高まっています。児童会を中心とする「ハロード」の取組が定着し、挨拶が八木山小のよき伝統として根付いてきました。良好な人間関係を築くためのコミュニケーションのひとつとして、今後も大切に指導したいと考えています。私たち大人が明るく挨拶を交わし、子どもたちにも挨拶の声をかけ続けることが、子どもたちの習慣づくりに結びついていくのだらうと思います。引き続きお力添えいただければ幸いです。

設問 6 気持ちのよいあいさつ (A+B 71%)

◆一方で、次の点については課題として捉えています。

設問 15 学校へ行くことが楽しいと言っている (A+B 85% C+D 14%)

私たち教職員が目指しているのは、どの子も安心して明日も行きたいと思う学校です。これは「総じて良ければ、よし」というものではなく、一人一人の子どもについて考えるべきものです。「そう思わない」子が1人でもいれば、その解決に向けて保護者の方と力を合わせながら努力しなくてはなりません。多くの仲間とともに生活する中では、ときにトラブルや悩みが発生することもあります。その解決を通して成長につなげていきたいと願っています。お子さんのことでご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

皆様のご協力に心より御礼申し上げます。今年度の残り2カ月、そして令和6年度も保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、子どもたちの成長を支えたいと願っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。